

燦^{san}

第七回

燦ノ会

能

井筒

大島

輝久

2015年10月21日(水) 午後6時45分開演
十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎 4-6-9 電話 03-3491-8813

S席 ¥5,000 / A席 ¥4,000 / B席 ¥3,000 / 二階自由席 ¥2,000

主催 燦ノ会 <http://www.sannokai.net/>

佐々木多門 大島輝久 友枝真也

七

番組

解説 山中 玲子

能

(後シテ・紀有常の娘の霊)
(前シテ・里女)
大島 輝久

井筒
(ワキ・旅僧) 宝生 欣哉

(大鼓) 亀井 忠雄
(小鼓) 吉阪 一郎

(笛) 杉 信太郎

(間狂言・在原寺門前ノ者) 高野 和憲

(後見) 塩津 哲生
佐々木多門

(地謡)
友枝 真也
金子敬一郎
友枝 雄人
内田 成信
狩野 了一
出雲 康雅
友枝 昭世
長島 茂

終了予定 午後九時頃

井筒 (いづつ)

諸国を旅する僧が大和国(奈良県)在原寺を訪れて、在原業平と紀有常の娘とが住んでいた旧跡を弔う。そこへ若い里女が現れ、荒れ果てた古塚に水を手向ける。不審に思った僧が言葉かけると、女はこれこそが業平の墓であると教え、業平と愛をつむいだ紀有常の娘の物語を始める。二人は幼馴染の間柄で、井戸の水鏡に互いに並んで姿を映して遊んでいるうち、成人となつて恋を交わした。このため有常の娘を「筒井筒の女」とも言われるようになったと語り、やがて里女は井筒の陰に姿を消してしまふ。(中入)

夜が更けると、業平の形見の装束を身につけて女が僧の前にふたたび現れ、心を業平へと深く思い入れて舞を舞い始める。情念が高まり思わず覗き込んだ井筒の水。その姿に業平の面影を女は偲び、いつしか夜が明けて空が白んできるとともに消え失せてゆく。

「伊勢物語」の二十三段目に典拠をとって、世阿弥が夢幻能として恋の情を描いた名曲。

解説

山中 玲子 (やまなか れいこ)

法政大学能楽研究所所長。1957年、東京生まれ。能の演出や技法の変遷が主な研究テーマ。著書に『能の演出その形成と変容』(若草書房)、共著に『能を面白く見せる工夫』(檜書店)、『人生をひもとく日本の古典』(岩波書店)など。NHK能楽番組の解説や各所の能楽講座等も多い。

お知らせ

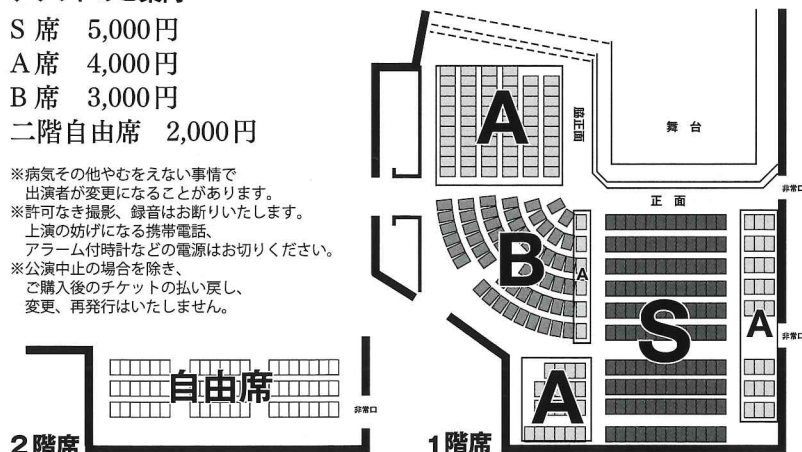
切符のご購入、ならびに公演のお問合せはホームページから、またはお電話で喜多能楽堂までお願いいたします。●燦ノ会ホームページ <http://www.sannokai.net/>

予約開始 2015年8月21日(金) 午前10時～

チケットのご案内

S席 5,000円
A席 4,000円
B席 3,000円
二階自由席 2,000円

※病气その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。
※許可なき撮影、録音はお断りいたします。
上演の妨げになる携帯電話、アラーム付時計などの電源はお切りください。
※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。



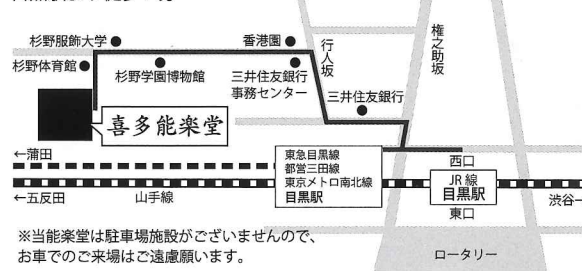
お申込み・お問合せ

公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎 4-6-9
TEL: 03-3491-8813

交通案内

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

予告 第8回 燦ノ会 2016年6月4日(土) 午後2時開演

能 高砂 大島輝久 能 桜川 佐々木多門